

引き継がれる 「地域交流事業」を目指して



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
彦岐市立 田河小学校	田河小学校学校運営協議会 平成30年6月6日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 1名 1名	田河小学校 サポート隊



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

先行き不透明な予測困難な現代において、これからの時代を多様な人々と協働しながら乗り越え、豊かな人生を切り拓く力を身に付けた子どもを育てるためには、地域との連携・協働による教育は必要不可欠である。

離島にある本地域においては、高校を卒業すると同時に島を離れる子が大多数であり、ふるさとでふるさとを学ぶ時間は限られている。同時に、数十年後に持続可能なふるさとの創り手となるべき人材も、今現在本校で学ぶ子どもたちである。

目標や目指す姿(学校)

たくましさとかちあう心もち、進んでがんばる子どもの育成

目標や目指す姿(地域)

地域の宝である子どもたちを「誰一人取り残さず、郷土愛にあふれ、優れた才能を引き出せる人」に育て上げる。



田河小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 公民館関係者 | <input type="checkbox"/> 民生児童委員・主任児童委員 |
| <input type="checkbox"/> JA青年部関係者 | <input type="checkbox"/> 駐在所警察官 |
| <input type="checkbox"/> 婦人会関係者 | <input type="checkbox"/> 老人クラブ関係者 |
| <input type="checkbox"/> 地域ボランティア団体関係者 | など、計 31名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 地域コーディネーター | 年間平均 4回程度開催 |

効果的な運営の工夫

効率的で充実した協議にするために、事前に①学校・地域コーディネーター会議(地域コーディネーター、校長、教頭等)、②検討会議(会長、副会長、地域コーディネーター、校長、教頭等)を開き、協議事項の選定や精査、方向性の共有を行っている。

各サポート部を強化するために、組織の再編成を進めている。会議に出席する構成員を絞り込み、個々の負担を軽減するとともに、組織の指示系統を明確にすることで、活動への参加はこれまでどおり、地域総がかりで取り組めるようにしている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

本校で長年実施されてきた地域を交えた活動について、その運営方法や内容を見直し、持続性・広域性を持った質の高い事業へと改革する必要があった。そこで、組織や取組の再編成(新たな地域団体の追加)、内容の創意工夫を行い、子どもや地域に愛着のある地域一体型のイベントとなるよう変革を行った。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

これまで学校と各種団体が個別につながり進めていた活動を一体化し、一つの事業として再構築した。不明瞭であった運営母体や役割を明確にした。新たな地域団体(女性部、婦人部、地域ボランティア団体)の参画を通して、地域の学校への関わりを増やしている。



冬フェス2020+1の様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

地域コーディネーターを中心に、事業実施計画書等を作成し、学校運営協議会での話し合いの前に、①学校・地域コーディネーター会議(地域コーディネーター、校長、教頭等)、②検討会議(会長、副会長、地域コーディネーター、校長、教頭等)を開き、学校や学校運営協議会の理解のもと、学校と地域の願いが反映するようにしている。事後は、学校運営協議会において事業報告を行い、地域・学校双方の立場から振り返りを行い、年々よりよい活動へとブラッシュアップできるよう努めている。

取組

成果・効果

- ◆子どもたちが地域の方の思いや行動力の高さを身近に感じる機会が増え、子どもたちの地域に対する親近感が高まった。
- ◆地域の方が学校や自分たちを大切に思ってくれていることを実感し、子どもたちの自己肯定感が高まった。
- ◆子どもたちと地域の方の垣根が低くなり、地域行事への子どもたちの参加が増えた。
- ◆学校に関わる地域の方々の幅が広がり、地域の方が学校に出向く機会や子どもに関わる機会が増えた。
- ◆事業に対する組織体制が整備され、地域の方の地域学校協働活動への参画が広がった。組織体制の見直しにより、教職員や地域の方の役割が明確になり、協働意識が一層高まった。また、負担の細分化や軽減が進み、より持続可能な事業に近づいた。
- ◆教職員と地域の方々のつながりが強まり、授業でのゲストティーチャーのお願いなど、学校からの協力依頼がしやすくなった。
- ◆子どもたちの地域やふるさとを大切に思う気持ちが高まった。

[指標] 全国学力学習状況調査[児童質問紙]より

	指標1	指標2	指標3
	自分にはよいところがある(肯定的な回答)	地域の行事に参加している(肯定的な回答)	地域や社会をよくするため何をすべきか考えることがある(肯定的な回答)
R1	92 %	58 %	50 %
R4	100 %	86 %	57 %